

亀さん通信

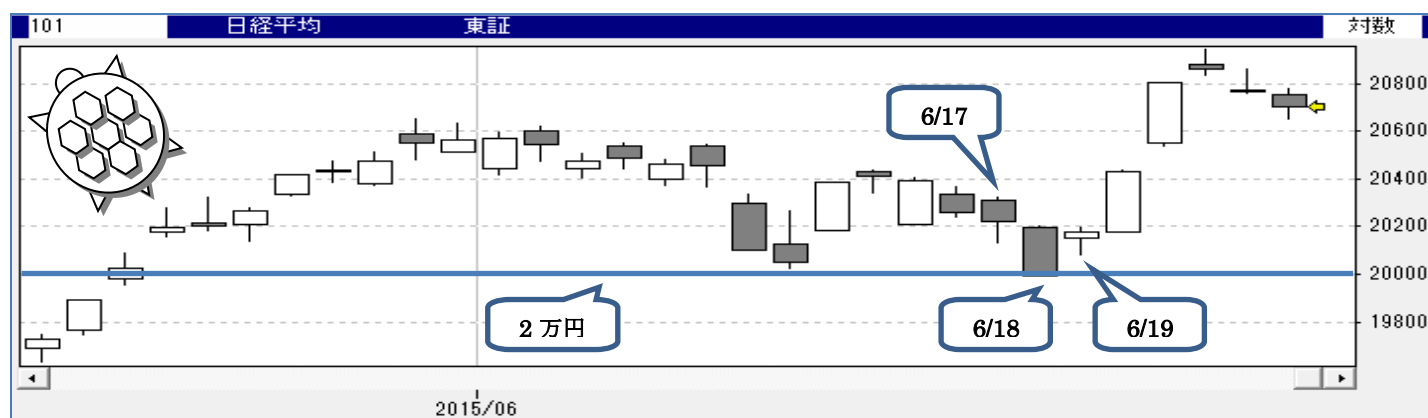
ジメジメした日々が続きますが、いかがお過ごしでしょうか！

亀のように歩みは遅くとも、『お金力』をしっかり・確実に身に付けていただく【亀さん通信】第 129 号発信！

樹から果実が落ちるのを待つ！

6月17日の日本経済新聞に興味深い記事が掲載されました。「12兆円の待機資金を抱える個人投資家が『日経平均株価が2万円を割ったら買おう』と待ち構えている」と。この記事を見て思いました。「2万円を割らずに上に行くか、割って更に下に行くかのどっちかだろう」と。何故私がそう考えたのか。そこには、**投資のヒント**が隠されています。

【日経平均株価日足チャート：5/15～6/26】（□が上昇、■が下落を表す）



上図はチャートと呼ばれる、1日毎の株価の動きをグラフにしたもの。6月17日に前述の記事が掲載され、その翌日には日経平均株価が19,990円まで下落。さて、個人投資家の皆さんは思惑通りに買えたのでしょうか。残念ながら買った人はごく少数だったはず。そして、その翌日からの急上昇。ということは、**ほとんどの個人投資家が置いて行かれた**わけです。一体どうしてなのか？

このチャートは6月26日まで表示されていますが、18日時点の株価はチャートの右端に表示されていたわけです。試しに19日以降のチャートを隠して、もう一度ご覧ください。きっと印象が変わります。ここから**2万円を割り込んでさらに下落する**ように見えませんか。ですから、個人投資家の思いは次のどちらかだったでしょう。下落の恐怖から買えなかった。下落を見込み、より有利な価格で買おうと思った。つまり、**いずれにしても買えなかった**わけです。

2万円といった切りのいい価格は節目と呼ばれ、投資家は必ず意識しています。そして、個人投資家の多くが**2万円を大きく割り込むことなく上昇に転じる**と考えていた。しかし、それほど簡単にいくでしょうか。言葉は悪いですが、個人投資家は「素人」と言い換えることができます。もちろん儲けている人はいますが、圧倒的多数は素人の域を出ていないのが実状。マーケットでは、そんな**素人の方々の思惑通りになることはまずありません**。今回ご紹介したように、**売買を躊躇させるような動き**をします。それは何故なのか？

今回の株価上昇を演出したのは、機関投資家などのビックプレイヤーです。彼らは利益を現実にするために、上がった株を誰かに売らねばなりません。では、誰に売するのか。株を買おうと待ち構えていたのに、**買えなくて悔しい思いをした素人の方々**です。それ故、できる限り高値で売り抜けようと思ったら、**素人の方々に株を持たせてはいけない**ということ。そして、指をくわえて株価の上昇を見ていた素人の方々が、**辛抱溜らず高値に飛びついた途端に下落が始まる**というわけです…

いかがでしたか。やっぱり株は難しいと思いませんか。確かに短期的に利益を出すことは、簡単ではありません。しかし、ご安心ください。長期投資であるならば、**プロの手口に乗せられることはありません**。短期的な騰落に一喜一憂するのではなく、**長期投資で樹から果実が落ちるのを待つ**。それが合理的な投資方法です！

梅雨明けが待ち遠しい今日この頃。個人的に夏は大好きです！

（株）亀山保険事務所 亀山裕弘（ミルロ） 1級ファイナンシャル・プランニング 技能士 0575-28-2768 info@kameyama-hoken.com